



目次

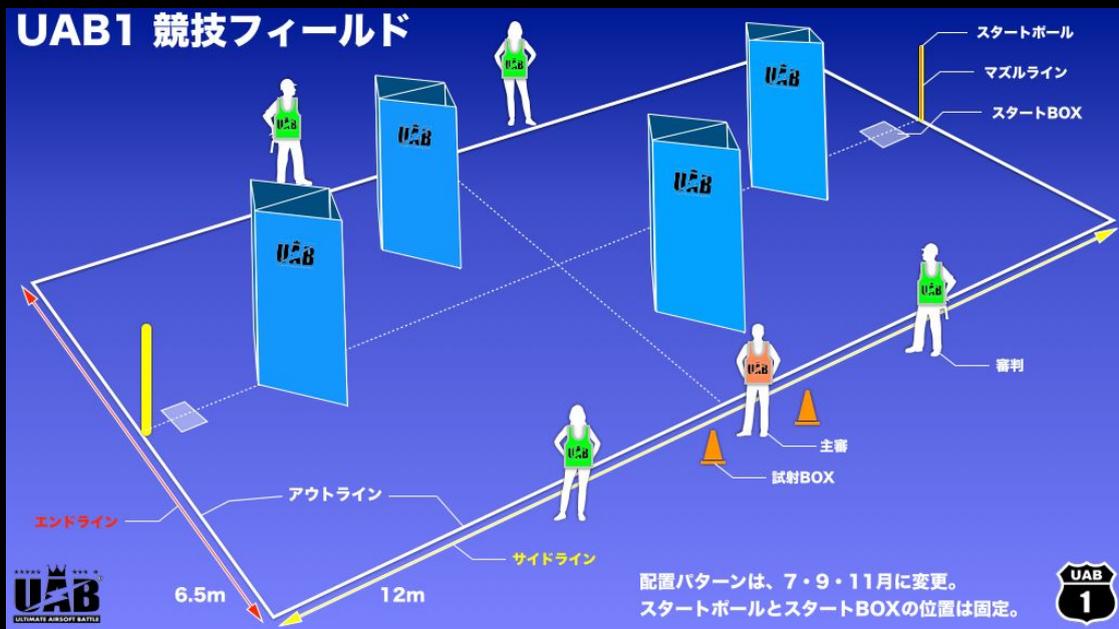
- 【1】 競技概要
- 【2】 競技フィールド
- 【3】 試合の開始
- 【4】 大会の進行
- 【5】 試合開始前の待機姿勢
- 【6】 試合結果の決定
- 【7】 競技者装備の規定
- 【8】 装備品の検査
- 【9】 禁止行為およびペナルティー規定
- 【10】 アライブ規定
- 【11】 競技規則
- 【12】 特記事項
- 【13】 免責事項

【1】競技概要

- 予選リーグ、決勝トーナメントの形式で行う。
 - 試合時間は、2分間とする。
 - 競技で使用するBB弾の重量は、0.2g限定とする。
 - 蓄光弾を発光させるトレーサー装着は必須とするが、加工して使用することは禁止とし、必ず純正状態で使用すること。また、UAB1で使用可能なトレーサーの種類は、UAB運営事務局指定のもののみとする（【6】競技者装備の規定 参照）。
 - 弾数は、1プレイヤーにつき、発光確認を含めてフィールドに持ち込める弾数は100発までとする。
- ※100発は目安となります。正確に100発にする場合は各自で数えてください。

【2】競技フィールド

- 横12m、縦6.5mの範囲を「UAB1 競技フィールド」とする。
- 1on1競技で使用可能なフィールドは、運営が指定したエリア内のみとする。
- スタート位置は、あらかじめ決められたポジションとする。
- 「UAB1 競技フィールド」内に、「UABトライアングル（バリケ）」を配置する。配置パターンは、大会前に変更する。（下図参照）



【3】大会の進行

- 予選ブロック内総当りにて順位を決定
- ※クジ引きにより予選ブロックを決定
- ※ブロック最小構成3名～参加人数に応じて変動
- ※引き分けによる再試合はありません

各予選ブロック上位1名～2名（参加人数に応じて変動）が決勝トーナメント進出

- ※①勝率（勝利数、引分数、敗北数）の高いプレイヤーが上位
- ※②ペナルティーの少ないプレイヤーが上位
- ※③勝利した試合終了時のタイムが速いプレイヤーが上位
- ※④以上が同率の場合はじゃんけん一本勝負にて勝ったプレイヤーが上位

●決勝

トーナメント形式にて順位を決定。

※各対戦は1本勝負により勝敗を決定

※2分間で決着が付かない場合、スタート位置を入れ替え、2分間の再試合を行う。

※再試合で決着が付かない場合は、ジャンケンによって勝敗を決定する。ただし、準決勝は再試合を2試合(本戦含む合計3試合)までとし、決勝は再試合を3試合(本戦含む合計4試合)までとする。

●ランキング大会 獲得ポイント

参加：10P

予選：予選ブロック内の順位ポイント（勝利ポイントはつきません）

決勝：決勝トーナメントにおける勝利数×10P + 上位入賞ポイント

※3位決定戦における勝利ポイント(10P)も加算

★予選ブロックポイント

1位：50P

2位：40P

3位：30P

4位：20P

5位：10P

6位以下：0P

★上位入賞ポイント

1位：100P

2位：60P

3位：30P

◎新設ミッションポイント(全参加大会累積加算)

★ジャイアント・キリング・ポイント：20P

トップランカーに勝利した回数×20P

ミッションクリア条件

2017年シリーズチャンピオンの「あらちゃん選手」と、第1回UAB1全国ランキング戦10位以内のトップランカーに勝利した場合、勝利数×20P

※予選ブロック、決勝トーナメント、双方で適用される

※対象のチャンピオンとランカー同士の対戦、ならびに対象ランカー同士の対戦には適用されない

※ジャイアントキリング対象者は大会エントリー時に申告すること（申告がない場合ポイントが計上できない可能性があります）

★エアコキハンドガン・ポイント：10P

エアコキハンドガンを使用して勝利した回数×10P

※予選ブロック、決勝トーナメント、双方で適用されます

ミッションクリア条件

大会エントリー時に「エアコキハンドガンポイントミッション」を宣言

当日の全試合にエアコキハンドガンを使用して参加することとし、エアコキハンドガン以外の使用はできなくなる

エアコキハンドガン以外を使用した場合、大会ポイントの取り消しおよび無申告としてノットコールとみなされます

※ミッションに使用するエアコキハンドガンの規定

①ボーナスチャレンジとなりますので、東京マルイ製限定かつ外装は無改造無加工とする

(純正状態のサイトを削る等、形状を変えることも禁止となります)

②トレーサー取り付け時の加工、ペイント・ステッカーチューン・グリップなどのドレスアップは可

③HOPやパワー調整はUAB1ルールの範囲内で可

④光学サイト・集光サイトの使用は不可とする

●プレイヤーは月内のランキング大会に何ヶ所でも参加可能だが、参加した月内の大会のうち、合計獲得ポイントが最も高かった大会のポイントが全国ランキングポイントへ反映される。

ただし、

★ジャイアント・キリング・ポイント

★エアコキハンドガン・ポイント

★参加ポイント

★ノットコールによるペナルティーポイント

以上はすべて累積する

【4】試合の開始

●主審が両プレイヤーの待機を確認し、「プレイヤーBOX」への移動をコールする。

●主審のコール後、直ちに試合開始へ向けた30秒間のカウントダウンに入る。カウントダウン終了後に鳴る電子ホイッスルの合図で、試合開始とする。

(30カウントで自動スタートとなるため、プレイヤーは速やかに待機姿勢を取ること)

【5】試合開始前の待機姿勢

●プレイヤーは速やかに「スタートBOX」へ移動しなければならない。

●スタート位置へ移動するよう指示を受けてから、試合開始のホイッスルが鳴るまでの間、選手入場口に設置してある試射BOX以外での一切の射撃を禁止とする。

※射撃してしまった場合、違反行為とみなし敗退となります。

●プレイヤーは、スタート位置の「スタートBOX」内で、両足を地面につけて待機すること。

・このとき、BOXラインを踏んではいけない。

・サイドラインと平行に足を向け、地面に爪先と踵を付けた状態で待機すること。

・スタート前の待機中は、銃口をマズルラインに付け、エアガンを傾けたり、逆さにしないこと。

・後頭部が相手プレイヤーに向いていること。

●スタート後の射撃について競技開始後、射撃をするにはスタートBOXから一度完全に出た後でなければならない。

・スタートBOXから完全に出た状態とは、両足がスタートBOXの外に出て地面に触れている状態かつ体がスタートBOX上にないことを指す。

・片足を踏み出して、残っている足がスタートBOX内の地面から離れただけでは、スタートBOXから完全に出たことにはならない。

・両足がスタートBOXの外の地面に1回以上触れた状態でスタートBOXから完全に出て射撃可能となる。

・踏み出した足または体がスタートBOXのライン上にある場合、まだスタートBOXから出ていないとみなす。

・スタートBOXを跨いでの射撃は禁止とする。

【6】試合結果の決定

- プレイヤーによるヒットコール、および審判のジャッジにより勝敗が決定する。

【7】競技者装備の規定

- 使用するエアソフトガンの初速は、下限0.36J以上～上限0.903J未満（参考：0.2g弾＝初速60m/s～95m/s）とする。
 - 競技で使用するBB弾の大きさは、直径6mm限定とする。
 - 競技で使用するBB弾の重量は、0.2g限定とする。
 - 競技で使用する蓄光BB弾の種類は、東京マルイ「NEW蓄光BB弾」のみとする。ただし、CQB FIELD BUDDYにおいてはG&G「蓄光バイオBB弾（緑）」のみとする。
 - 蓄光弾を発光させるトレーサー装着は、必須とする。また、UAB1で使用可能なトレーサーの種類は、下記のみとする。
 - ・東京マルイ製「NEWフルオートトレーサー」
 - ・ACETECH製「AT1000フルオートトレーサー」
 - ・ACETECH製「AT2000フルオートトレーサー」
 - ・ACETECH製「LIGHTER ミニトレーサーユニット」
 - ・Xcortech製「XT301」
 - ・Xcortech製「XT501」
 - トレーサーの加工は禁止とし、必ず純正状態で使用することとする。
 - 弾数は、1プレイヤーにつき、1試合100発までとする。
 - 携行するBB弾は、全てマガジンに入れた状態とし、BBローダー等の持ち込み不可とする。使用するマガジンの種類や個数は、自由とする。
 - フェイスガードの装着は、必須とする。
 - 安全上の観点から、アイウェアについては、シューティンググラスやメッシュタイプゴーグルの使用は禁止とする。ただし、シューティンググラスにゴムバンドおよび隙間対策を施したものであれば使用可能とする。
 - 減速アダプターの使用は、禁止とする。
 - トリガーについて以下の「スリー・1・ルール」を遵守し、トリガーの長さはベースモデルの実銃の標準状態を超えないこと。
 - ・ワンフィンガー（指1本でトリガー操作すること）
 - ・ワントリガー（トリガーは1つだけで1回の操作で1回だけ作動すること）
 - ・ワンショット（1操作につき1発だけ発射可能であること）
- ただし、上記を満たしていても、試合での使用には不適切であると運営によって判断された場合、その装備品は使用禁止とする。
- パワーソースは、電動、ガス、エアコッキングの使用を可能とし、以下の事項を遵守すること。
 - ガス式については、外部ソースによるガスタンクのウォーミング行為は禁止とする。
 - 一度の射撃でBB弾を複数発射するショットガンなど、外部ソース、CO2ガス、電磁弁の使用は禁止とする。
 - モスカート、グレネード、クレイモア、排莢式等の使用は禁止とする。
 - フラッシュライト、レーザーの装着は可能だが、発光禁止とする。
 - 安全を脅かすと考えられる装備等の装着がないこと。
 - その他、上記確認を実施できないエアソフトガン、あるいは運営や審判員が危険と判断した装備品の使用を禁止とする。
 - エアコキハンドガンポイントミッションを狙わないでエアコキハンドガンにストックつけるなどの加工は可能とする。

【8】装備品の検査

- UAB競技の開始前、あらかじめ指定された時間内に、競技者が使用する装備品の検査を実施する。

- 検査へ持ち込み可能なエアソフトガンは、一人につき2挺までとする。検査をパスしたエアソフトガンのうち、1試合につき、1挺まで使用することができる。
 - 法定基準値超だった場合は当該プレイヤーを失格処分とする。また、数値の下限を下回った場合も、その装備品の使用を禁止とし、再計測も不可とする。
- ※計測後の調整行為は一切認められませんので、あらかじめ調整を完了した状態で計測を受けてください。当日の運営用意の弾速計の数値が1発でもオーバーした場合、オーバーした初速が法定基準値以下であれば、その装備品を使用禁止とし、再計測も不可とする。
- 検査終了後、運営の指示があるまで、これらの装備品の調整行為を禁止とする。
- ただし、以下の調整行為については、運営の許可を得たうえで実施することができる。

- ・バッテリー交換
- ・トレーサーの電池交換
- ・ガスのチャージ
- ・弾込め

上記の調整行為以外でエアソフトガンに接触する場合も、運営の許可を得たうえで実施することができる。

- セーフティにて装備品の修理等を行う必要がある場合、運営の許可を得たうえで実施することができる。
- 試合終了後、運営の求めに応じて装備品の検査を実施する。規定に違反する装備品を使用していた試合は、敗退となる。

【9】 禁止行為およびペナルティー規定

- 1on1競技中、ルールに定められた禁止行為が見受けられた場合、それに応じたペナルティーを課すものとする。

《ペナルティー》

- 失格：参加中のUAB1からの失格。
- 減点：ノットコールと判断されたプレイヤーは退場とし、さらにUAB1シーズンランキングポイントから20ポイント減点とする。ただし、累計ポイントの下限を「0」までとする。
- 注意：審判が口頭警告（回数が累積した場合、当該プレイヤー失格の可能性あり）。

《禁止行為①》

- ノットコール：被弾についての無申告、バースト・フルオート射撃についての無申告、ガントラブル時にフルオート射撃一時使用の事前申告を行わないこと。なお、フィールド入場口の主審に被弾申告（ヒットコール）が聞こえていない場合も、ノットコールとなる。
- 被弾後の射撃。
- 電波を発する機器を使用したコミュニケーション。
- 競技者装備の規定違反が試合中に確認された場合。
- ラインアウト：装備品を含む身体の一部が境界ラインに触れること。もしくは、ラインを踏んでしまうこと。
- 走り込みながら射撃し、相手プレイヤーをヒットした後に止まり切れずラインアウトしたり、バリケードにぶつかるなどすること。それらは危険行為とみなし、当該プレイヤーを退場とする。また、その射撃は無効とし、ヒットされたプレイヤーをアライブとする。
- スタート時のフライング。
- スタート前の射撃（誤射含む）。
- バリケードの破壊、および接触によりバリケードが明らかに動いた場合。
- ブラインドショット。
- バリケードの上部を通した射撃。
- BB弾の手投げ等、銃口以外からのBB弾発射。

- 拾い弾の使用。

《禁止行為②》

- 発光体や音響機器を含む装備品を悪用して競技や試合進行を妨害する行為。
- 明らかに跳弾を狙った射撃。
- 明らかにエアガンを傾けた曲射。
- 過度なホップ調整によって弾道を曲げた射撃。
- 試合中のバッテリー交換およびガスチャージ、工具を使用したエアガンの調整行為。
- 暴言、暴力行為、侮辱行為、挑発行為。
- スポーツマンシップに反すると判断される行為。
- その他、オフィシャルによって禁止行為と判断される行為。

注意対象

- UAB競技中の「UAB1競技フィールド」以外での一切の射撃。

【10】アライブ規定

- トレーサーの発光不良の場合を除き、禁止行為を伴う「射撃」を無効とする。それによって被弾したプレイヤーは、アライブとなる。ただし、ヒットコールが無い場合はノットコールと判定されます。

【11】競技規則

- 跳弾のヒット判定は、有効とする（自打被弾、マガジンからの脱落弾含む）。
- 被弾時は、直ちに大きな声でヒットコールを宣言しなければならない。
- バースト・フルオート射撃を行った時は直ちに大きな声でヒットコールを宣言しなければならない。
- 試合中、ゴーグルが外れた場合は、プレイを中断して速やかにその場所でうづくまること。
- ガントラブル時（セミロックや装弾不良など）の解除方法
 - ・フルオート一時使用やガントラブルリカバリーについては、審判に申告して承認を受けたのち、銃口を安全な方向に向けて行うこと。
 - ・その際の跳弾含むすべての被弾は、有効とする。

【12】特記事項

- UABは、基本的には自己判定によるヒットが大前提となる競技です。
競技特性上、正確なヒットの自己判定ができる衣類、装備での競技実施をお願いいたします。
- 他者（特に審判）から見た被弾判定を明確にするため、白色をベースとする衣服および装備品の着用は禁止とします。
- 運営が競技に適さないと判断した衣服・装備品は、着用を禁止する場合がございます。
- UABは、18歳未満の方の競技出場をお断りしております。あらかじめご了承ください。
- 参加者は、上記規定以外で不測の事態が発生した場合、その事態を試合中であれば運営スタッフへ、それ以外は大会主催者へその処置を一任し、その判断に従うものとします。
- 運営側にて、悪質なルール違反者であると判断した場合は、当日の大会からの退場や、それ以降のエントリー等をお断りする場合があります。
- 大会当日は、駐車場が大変混雑する恐れがありますので、車で乗り合わせてのご来場を強くお勧めいたします。

【13】 免責事項

- 大会開催中に発生した怪我、犯罪被害（窃盗等）、事故等、参加者が受けた不利益に対しては、運営および大会主催者、開催フィールドマスターは、一切の責任を負いかねるものとします。